

令和3年4月1日付け採用
高知県公立学校教員採用候補者選考審査
筆記審査（専門教養）

小学校 中学校 養護教諭

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

記入例

(受審番号12345の場合)

- 4 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。例えば、解答記号 ア と表示のある問いに対してbと解答する場合は、下の(例)のようにアの解答欄の○(b)をマークしてください。

(例)

ア	a	●	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

- 5 筆記審査（専門教養）が終了した後、解答用紙（マークシート）のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。



第1問 次の1・2の問いに答えなさい。

1 学校保健計画について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、学校保健計画について述べたものである。このうち、誤っているものはどれか。次のa～eから一つ選びなさい。

- a 学校保健計画は、児童生徒及び職員の健康の保持増進を図るためのものである。
- b 「保健管理」、「保健教育」、「保健組織活動」の各領域にわたって作成する総合的な基本計画である。
- c 学校保健計画の内容については、原則として保護者等の関係者に周知を図る。
- d 学校の実態や地域の特色を踏まえて作成することが求められている。
- e 作成に当たっては、学校教育法の改正により、新たに指導面も盛り込むこととされたことから、教育課程全体を踏まえた計画とする。

(2) 次の文は、学校保健計画の作成と評価の視点について述べたものである。このうち、誤っているものはどれか。次のa～eから一つ選びなさい。

- a 学校保健計画は、年度の重点目標を立て評価・改善していくものである。
- b 養護教諭は、児童生徒の心身の健康課題を把握していることから、学校保健計画の策定には積極的に関わる必要がある。
- c 計画(Plan)、実施(Do)、評価(Check)、改善(Action)のサイクルを定着させる必要がある。
- d 計画の作成と同時に評価計画を立て、学校の実態に応じた方法で組織的に実施していくことが求められる。
- e 学校保健計画の評価は学校長が行い、目標に準拠した評価を行う。

(3) 学校保健計画の内容については、学校保健安全法第5条に示されている。学校保健安全法第5条に示されていないものはどれか。次のa～eから一つ選びなさい。

- a 児童生徒等の健康診断
- b 職員の健康診断
- c 当該学校の施設及び設備の安全点検
- d 児童生徒等に対する指導
- e その他保健に関する事項

- 2 学校保健安全法施行規則第3条には、就学時の健康診断の「方法及び技術的基準」が示されている。文中の に該当する語句はどれか。下の a～e から一つ選びなさい。

第3条 法第11条の健康診断の方法及び技術的基準は、次の各号に掲げる検査の項目につき、当該各号に定めるとおりとする。

- 一 状態は、皮膚の色沢、皮下脂肪の充実、筋骨の発達、貧血の有無等について検査し、 不良又は肥満傾向で特に注意を要する者の発見につとめる。

(以下略)

- a 摂食
- b 体格
- c 機能
- d 栄養
- e 発育

第2問 次の1～11の問いに答えなさい。

- 1 次の表は、脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無並びに四肢の状態にかかわる質問項目と、それを診ることができる検査について述べたものである。文中の(①)～(⑤)に該当する語句の組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。 ア

保健調査の質問項目	検査の方法
背骨が曲がっている。	肩の高さ・肩甲骨の高さや後方への出っ張り・ウェストラインの(①)の有無を確認する。また前屈テストを実施する。
腰を曲げたり、反らしたりすると痛みがある。	かがんだり(屈曲)、反らしたり(伸展)したときに、腰に痛みが出るか否かをたずね、(②)に反らせることにより腰痛が誘発されるかどうか確認する。
上肢に痛みや動きの悪いところがある。	肩関節の可動性は(③)より観察して、児童生徒等の両肘関節を伸展させた状態で上肢を前方挙上させて異常の有無を検査する。上腕が耳につくか否かに注意する。
膝に痛みや動きの悪いところがある。	膝のお皿の下の骨(脛骨粗面)の周囲を痛がる場合(腫れることもある)は、(④)を疑う。
片脚立ちが5秒以上できない。しゃがみこみができない。	立つ、歩行、しゃがむなどの動作がぎこちないか、また左右それぞれに片脚立ちするとふらつかないか、(⑤)が傾いたり、背骨が曲がったりしないかを観察する。

	(①)	(②)	(③)	(④)	(⑤)
a	前後差	後ろ	後方	踵骨骨髄炎	頭部
b	前後差	後ろ	正面	オスグッド病	肩
c	湾曲差	左右	側面	ペルテス病	骨盤
d	左右差	左右	後方	ペルテス病	頸部
e	左右差	後ろ	側面	オスグッド病	骨盤

2 次の(1)・(2)は、児童生徒健康診断票の記入上の注意について述べたものである。このうち、誤っているものはどれか。それぞれ下のa～eから一つずつ選びなさい。

(1) 健康診断票（一般）記入上の注意

- a 年齢：定期の健康診断が行われる学年の始まる翌日に達する年齢を記入する。
- b 身長，体重：測定単位は，小数第1位までを記入する。
- c 視力：裸眼視力はかっこの左側に，矯正視力はかっこ内に記入する。この場合において，視力の検査結果が1.0以上であるときは「A」，1.0未満0.7以上であるときは「B」，0.7未満0.3以上であるときは「C」，0.3未満であるときは「D」と記入して差し支えない。
- d 聴力：1,000Hzにおいて，30db又は4,000Hzにおいて，25db（聴力レベル表示による）を聴取できない者については，○印を記入する。
- e 事後措置：学校保健安全法施行規則第9条の規定によって学校においてとるべき事後措置を具体的に記入する。

(2) 児童生徒健康診断票（歯・口腔）記入上の注意

- a 歯垢の状態：ほとんど付着なし，若干の付着あり，相当の付着あり，の3区分について，それぞれ0，1，2で記入する。
- b 歯肉の状態：異常なし，定期的観察が必要，専門医（歯科医師）による診断が必要，の3区分について，それぞれ0，1，2で記入する。
- c 喪失歯は，むし歯が原因で喪失した乳歯，永久歯であり，該当歯に△を記入する。
- d 要注意乳歯は，保存の適否を慎重に考慮する必要があると認められた乳歯とし，該当歯に×を記入する。
- e むし歯は，乳歯，永久歯ともに処置歯○または未処置歯Cに区分する。

- 3 肥満度の計算式は、次の式で表される。式中の に該当する語句を、下の a ~ e から一つ選びなさい。

$$\text{肥満度} = \frac{(\text{実測体重} - \text{})}{\text{}} \times 100 (\%)$$

$$\text{} = \text{①} \times \text{実測身長} - \text{②}$$

(注 ①と②は、 を求める係数であり、以下の表の通り年齢別、性別に示されている)

参考 表 を求める係数と計算式

年齢	係数	男		女	
		①	②	①	②
5		0.386	23.699	0.377	22.750
6		0.461	32.382	0.458	32.079
以下略					

- a 身長別標準体重
- b 年齢別標準体重
- c 年齢別標準身長
- d 体重別標準身長
- e 性・年齢別標準体重

- 4 児童生徒等の発育を評価する上で、成長曲線等を積極的に活用することが重要である。成長曲線、肥満度曲線を作成することによって、病的状態である可能性が高いと思われるグループを見分けることができる。その中で、思春期早発症などの病的状態が原因であると考えられるグループはどれか。次の a ~ e から一つ選びなさい。

- a 過去の身長の最大値に比べて最新値が1 Zスコア以上小さい。
- b 身長の最新値が-2.5 Zスコア以下。
- c 過去の肥満度の最小値に比べて最新値が20%以上大きい。
- d 過去の肥満度の最大値に比べて最新値が20%以上小さい。
- e 過去の身長の最小値に比べて最新値が1 Zスコア以上大きい。

注 *パーセンタイル：日本語では百分位といって、集団全体を百に均等に分けて身長や体重がその何番目に当たるかを示したもの。

* Zスコア：(実測身長 - 平均身長) ÷ 標準偏差

- 5 心疾患・腎疾患・アレルギー疾患を有する児童生徒の学校生活における適切な健康管理を行う上で、学校生活管理指導表の活用は重要である。次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) 心疾患・腎疾患の児童生徒を対象とした学校生活管理指導表の運動強度の定義を次の表に示す。文中の下線部①～④の説明において正しいものには○印、誤っているものには×印をつけた場合、正しい組み合わせはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。

カ

軽い運動	同年齢の平均的児童生徒にとって、 <u>①ほとんど息がはずまない程度の運動</u> 。レジスタンス運動（ <u>②有酸素運動</u> ）は軽い運動には含まれない。
中等度の運動	同年齢の平均的児童生徒にとって、 <u>③少し息がはずむが息苦しくない程度の運動</u> 。
強い運動	同年齢の平均的児童生徒にとって、 <u>④息がはずみ息苦しさを感ずるほどの運動</u> 。

	①	②	③	④
a	×	○	○	×
b	×	○	×	○
c	○	○	○	×
d	○	×	×	×
e	○	×	○	○

- (2) 心疾患、腎疾患、アレルギー疾患を有する児童生徒の学校生活管理指導表について述べた次の説明のうち、誤っているものはどれか。次のa～dから一つ選びなさい。

キ

- a 心疾患・腎疾患を有する児童生徒の運動会、体育祭、球技大会、スポーツテストなどの学校行事への参加の可否は、運動種目によるものである。
- b 腎臓病においては食事療法が必要な場合があり、そのような児童生徒のために給食の欄を設けることが推奨されている。
- c 運動部（クラブ）活動への参加の可否は、運動種目によって一概に決めることはできない。個人の身体的、精神的状態に加え学校差、習熟度、選手を目指して行うのか等を総合的に考慮するべきである。
- d アレルギー疾患用の学校生活管理指導表は、病型・治療、学校生活上の留意点、緊急時連絡先等の記載欄より構成される。

6 学校における虐待の気付きと初期対応について、次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 健康診断は、身体計測、内科検診や歯科検診をはじめとする各種の検診や検査が行われることから、それらを通して虐待を発見しやすい機会である。健康診断時及び救急処置における児童虐待の早期発見の視点について誤っているものはどれか。次のa～eから一つ選びなさい。

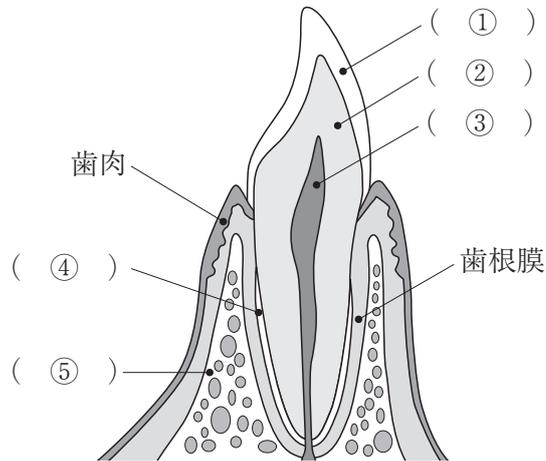
- a 耳鼻科検診（聴力検査）では「外傷の放置」「心因性難聴」などが、眼科検診（視力検査）では「外傷の放置」「心因性視力低下」などがあった場合。
- b 身体計測では、「不自然な傷・あざ」のほか、「発育不良」「不潔な皮膚」などがあった場合。
- c 児童虐待による外傷は骨張っているところ、例えば、額・鼻・顎・肘・膝など皮膚の直下に骨があって脂肪組織が少ない場所に生じやすい。
- d 児童虐待による外傷は、臀部や大腿内側など脂肪組織が豊富で柔らかいところに起こりやすい。
- e 児童虐待による外傷は、頸部や腋窩などの引っ込んでいるところに起こりやすい。

(2) 次の表は、身体的虐待による外傷のうち特徴のある外傷所見を示したものである。このうち、誤っているものはどれか。次のa～eから一つ選びなさい。

a	ループ状の傷	電気コードやロープをループ状に曲げてむち打つように打ち付けたときにできる傷。
b	スラッピング・マーク	平手打ちによってできる皮下出血で、平手で打ち付けられた部分のうち指と指の間の箇所に痕が残る。
c	噛み傷	左右の犬歯と犬歯の距離が3cm以上ある場合は、大人によるかみ傷である。
d	シガレット・バーン	直径が約8mmで境界鮮明な円形を呈しており、周辺部分に中央部分よりも深い火傷が認められる場合、紙巻たばこを押しつけられた火傷である可能性が極めて高い。
e	鏃マーク	液体が重力によって流れると先端が下向きに鏃状を呈する現象で、熱した液体を浴びせられたときにできる液体熱傷に特徴的である。

7 歯と口の健康にかかわる次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次に示す歯と口腔の図にある(①)～(⑤)の名称について、正しい組み合わせはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。



	(①)	(②)	(③)	(④)	(⑤)
a	セメント質	象牙質	歯髄	エナメル質	歯槽骨
b	エナメル質	セメント質	歯槽骨	象牙質	歯髄
c	エナメル質	象牙質	歯髄	セメント質	歯槽骨
d	象牙質	エナメル質	歯髄	セメント質	歯槽骨
e	エナメル質	象牙質	歯槽骨	セメント質	歯髄

- (2) 次の文は、歯と口のけがが起こった場合の応急手当について述べたものである。この文中の (①) ~ (⑤) に該当する語句は何か。正しい組み合わせを下の a ~ e から一つ選びなさい。 サ

○歯・口のけがの応急手当で重要なことは「抜けたり折れたりした歯を (①) させず、いかに早く元に戻すか」である。特に、抜けてしまった場合には (②) にはさわらないように注意し、可能な限り (③) 以内に、歯科医院等で処置できるようにしたい。

○抜けたり、破折した時は、その歯を捜して (①) させないように歯の (④) に浸す。

○口を (⑤) で軽くすすぎ、汚れや血を流す。歯と口のけがは、歯だけ単独の傷害は少なく、歯肉のほか、顔や顎の骨、口唇や小帯などの軟組織の負傷の有無など、全体的な確認も忘れずに行う。

	(①)	(②)	(③)	(④)	(⑤)
a	洗浄	歯冠	30分	消毒薬	冷水
b	乾燥	歯根	30分	保存液	ぬるま湯
c	汚染	歯冠	半日	消毒薬	冷水
d	乾燥	歯根	1時間	保存液	消毒薬
e	汚染	エナメル質	1時間	消毒薬	ぬるま湯

- (3) 次の文は、むし歯発生のメカニズムについて述べたものである。文中の (①) ~ (④) に該当する語句の組み合わせを、下の a ~ e から一つ選びなさい。 シ

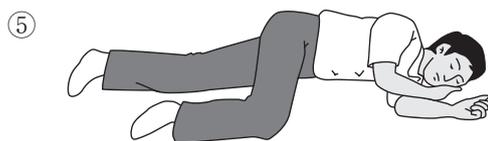
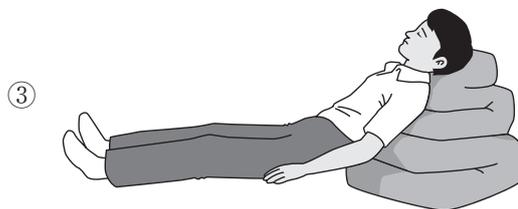
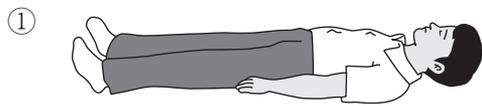
むし歯発生の第一段階は、歯の表面に定着したミュータンス菌が、口腔内に食物としてとられた (①) を利用し多糖を合成することである。この多糖は粘着性が強く、他の細菌を付着させて細菌の塊を作り上げる。この細菌の塊を歯垢と呼ぶ。さらに食物としてとられた (①) を始めとして各種の糖類が、歯垢中に浸透し、歯垢内の細菌によって利用され、酸が作られる。歯垢内の酸の蓄積により酸性度 (pH) が (②) になると、歯が溶け始める ((③))。

ところが、歯垢のpHはいつまでも (②) に止まっているわけではなく、歯垢中の酸は分泌される (④) の力などで元のpHに戻る。

	(①)	(②)	(③)	(④)
a	ショ糖	5.5以下	脱灰	唾液
b	ショ糖	7未満	再石灰化	アミノ酸
c	果糖	6.9以下	脱灰	消化酵素
d	果糖	5.5以下	再石灰化	唾液
e	ぶどう糖	7未満	石灰化	消化酵素

8 傷病者に適した体位について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次に示す①～⑤の図は、何という体位の名称か。正しい組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。



	①	②	③	④	⑤
a	仰臥位	足側高位	座位	半座位	半側臥位
b	伏臥位	膝屈曲位	仰臥位	起座位	回復体位
c	仰臥位	半側臥位	座位	半座位	膝屈曲位
d	仰臥位	膝屈曲位	半座位	座位	回復体位
e	伏臥位	足側高位	半座位	座位	半側臥位

(2) 上記の体位のうち、喉の奥の空気の通り道が狭まったり、吐物で詰まったりすることを予防する体位はどれか。次のa～eから一つ選びなさい。

a	b	c	d	e
①	②	③	④	⑤

- (3) 次の文は、けがなどで出血した傷病者に対する応急手当について述べたものである。このなかで、誤っているものはどれか。次のa～dから一つ選びなさい。

ソ

- a 出血部位を見つけ、そこにガーゼ、ハンカチ、タオルなどを当てて、その上から間接圧迫して止血を試みる。
- b 圧迫にもかかわらず、出血がおさまらない場合は、圧迫位置が出血部位から外れていたり、圧迫する力が弱いことなどが考えられる。
- c 止血のさいに救助者が傷病者の血液に触れて感染症にかかる危険はわずかだが、念のために、可能であれば救助者はビニール手袋を着用するか、ビニール袋を手袋の代わりに使用するとよい。
- d 直接圧迫止血法で出血が止まらない場合には、ベルトなどで手足の根元を縛る方法もある。

- 9 学校において予防すべき感染症の対応について、次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の①～⑩に示す感染症のうち、第2種の感染症を組み合わせているのはどれか。正しい組み合わせを下のa～eから一つ選びなさい。 タ

- ① エボラ出血熱 ② インフルエンザ（鳥インフルエンザを除く。）
- ③ コレラ ④ 痘そう
- ⑤ 麻しん ⑥ 風しん
- ⑦ 細菌性赤痢 ⑧ 腸管出血性大腸菌感染症
- ⑨ 咽頭結膜熱 ⑩ 急性灰白髄炎

a	b	c	d	e
①②③⑧	②⑤⑥⑨	③④⑦⑩	④⑥⑧⑨	⑤⑦⑨⑩

- (2) 次の文は、海外からの児童生徒等の受け入れについて述べたものである。この文中の (①) ~ (⑤) に該当する語句の組み合わせを、下の a ~ e から一つ選びなさい。

結核について、高まん延国で (①) の居住歴のある児童生徒等は、(②) または転入時の1回、精密検査の対象とする。学校の設置者(教育委員会)は、(③) に助言を受ける等、(④) の実情に応じ、精密検査を受けられる体制を構築しておくことが有効である。また、転入受け入れ時に来日後の検診を確認し、未受診の場合は、受診するよう促すことが望ましい。

高まん延国での居住歴がある児童生徒等に対する精密検査にあたって、対象者が(⑤) の対象になることがないような十分な配慮と、一般の児童生徒等に対して感染症への(⑤) を持つことがないように適切な教育・指導を行うことが重要である。

	(①)	(②)	(③)	(④)	(⑤)
a	1年以上	帰国時	学校医等	家庭	抵抗感
b	6か月以上	入学時	結核の専門家等	地域	差別・偏見
c	6か月以上	帰国時	結核の専門家等	地域	恐怖心
d	1年以上	入学時	学校医等	学校	恐怖心
e	3か月以上	来日時	保健所等	学校	差別・偏見

- (3) 次の文は、「結核患者に対するDOTS(直接服薬確認療法)の推進について」(平成16年12月21日健感発)の改正について述べたものである。このなかで、誤っているものはどれか。次の a ~ d から一つ選びなさい。

- a 結核のまん延を防止するためには、結核患者が確実に抗結核薬を服用することが重要である。
- b 多剤耐性結核の発生を予防するためには、結核患者が確実に抗結核薬を服用することが重要である。
- c 医療機関の長は、結核患者が確実に抗結核薬を服用することができるように、服薬支援者にDOTSの実施を依頼することができる。
- d 学校に通学している患者については、学校がDOTS実施の依頼先となり、養護教諭等の学校保健担当者が服薬支援者となる。

10 次の疾患について、文中の（ ① ）～（ ⑧ ）に該当する語句の組み合わせを、下の a～e からそれぞれ一つずつ選びなさい。

起立性調節障害：立ちくらみ，（ ① ），気持ち悪い，動悸，息切れ，腹痛，頭痛などの（ ② ）や自律神経症状を示す子どもの自律神経失調症である。症状は一般的に（ ③ ）に強く，朝なかなか起きられない。小学校高学年から（ ④ ）までの年齢に多くみられ，不登校を伴うことも少なからずある。

過敏性腸症候群：腸管機能の（ ⑤ ）した病態に基づき，腹痛，（ ⑥ ）及び便秘異常（下痢，便秘，下痢と便秘を繰り返す）が持続し，種々の腹部の（ ⑦ ）を訴えるが，（ ⑧ ）が証明されないものである。

（ ① ）～（ ④ ）

テ

	（ ① ）	（ ② ）	（ ③ ）	（ ④ ）
a	意識喪失	脳貧血症状	午前中	中学校
b	意識喪失	貧血症状	日中	高等学校
c	失神	低血糖症状	明け方	成人
d	めまい	貧血症状	明け方	中学校
e	めまい	脳貧血症状	午前中	高等学校

（ ⑤ ）～（ ⑧ ）

ト

	（ ⑤ ）	（ ⑥ ）	（ ⑦ ）	（ ⑧ ）
a	停滞	腹部膨満感	急性腹症	器質的病変
b	亢進	腹部腫瘤	不定愁訴	機能的病変
c	抑制	腹部腫瘤	慢性症状	機能的病変
d	亢進	腹部膨満感	不定愁訴	器質的病変
e	抑制	腹部膨満感	急性腹症	器質的病変

- 11 学校環境衛生管理マニュアル「学校環境衛生基準」の理論と実践（平成30年改訂版 文部科学省）に示されている学校環境衛生基準について、次の（1）・（2）の問いに答えなさい。

- （1） 次の表は、教室等の環境に係る学校環境衛生基準について示したものである（一部抜粋）。このうち、誤っているものはどれか。次の a～e から一つ選びなさい。

ナ

	検査項目	基準	方法
a	相対湿度	30%以上, 50%以下であることが望ましい。	0.5度目盛の温度計を用いて測定する。
b	一酸化炭素	10ppm以下であること。	検知管法により測定する。
c	二酸化窒素	0.06ppm以下であることが望ましい。	ザルツマン法により測定する。
d	揮発性有機化合物 ホルムアルデヒド	100 $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下であること。	揮発性有機化合物の採取は、教室等内の温度が高い時期に行い、吸引方式では30分間で2回以上、拡散方式では8時間以上行う。ジニトロフェニルヒドラジン誘導体固相吸着／溶媒抽出法により採取し、高速液体クロマトグラフ法により測定する。
e	ダニ又は ダニアレルゲン	100匹/ m^2 以下又はこれと同等のアレルゲン量以下であること。	温度及び湿度が高い時期に、ダニの発生しやすい場所において1 m^2 を電気掃除機で1分間吸引し、ダニを捕集する。捕集したダニは、顕微鏡で計数するか、アレルゲンを抽出し、酵素免疫測定法によりアレルゲン量を測定する。

(2) 次の表は、教室等の環境に対する日常点検のポイントを示したものである。表中の(①)～(⑤)に該当する語句の組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。 ニ

黒板	(①)は十分にあるか。(②)はないか。光るような箇所はないか。
テレビ	映り込みはないか。(②)はないか。
机上	(①)は十分にあるか。(②)はないか。
騒音	(③)を妨害する音はないか。
換気	教室に入ったとき、不快な(④)や臭いはないか。換気が適切に行われているか。
清潔	室内は清潔で整頓されているか。施設及び備品は清潔で(⑤)はないか。
衛生害虫等	ハエ、蚊、ゴキブリ等がないか。

	(①)	(②)	(③)	(④)	(⑤)
a	照度	暗さ	授業	刺激	異物
b	清潔さ	まぶしさ	会話	空気	破損
c	明るさ	破損	活動	風味	異物
d	明るさ	まぶしさ	授業	刺激	破損
e	広さ	暗さ	学習	ほこり	異臭

第3問 次の1～4の問いに答えなさい。

1 熱中症について、次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の表は、熱中症の症状と重症度分類を示したものである。表中の(①)～(④)に該当する語句の組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。

ア

分類	症状	症状から見た診断	重症度
I度	めまい・失神 ○ 「立ちくらみ」という状態で、脳への血流が瞬間的に不十分になったことを示す。	熱失神	
	筋肉痛・筋肉の硬直 ○ 筋肉の「こむら返り」のことで、その部分の痛みを伴う。発汗に伴う塩分(ナトリウム等)の(①)により生じる。	(③)	
II度	○ 体がぐったりする、力が入らない等があり、「いつもと様子が違う」程度のごく軽い(②)を認めることがある。	(④)	
III度	II度の症状に加え、 ○ 呼びかけや刺激への反応がおかしい、体にガクガクとひきつけがある(全身のけいれん)、真直ぐ走れない・歩けない等。 ○ 体に触ると熱い。	熱射病	

	(①)	(②)	(③)	(④)
a	欠乏	熱けいれん	熱疲労	脱水症
b	充足	脱力感	熱疲労	熱けいれん
c	欠乏	意識障害	脱水症	熱けいれん
d	過剰	熱疲労	熱けいれん	日射病
e	欠乏	意識障害	熱けいれん	熱疲労

(2) 次の文は、「低ナトリウム血症」について述べたものである。このうち、誤っているものの組み合わせはどれか。下の a～e から一つ選びなさい。

- ① 市民マラソン，ウルトラマラソン，トライアスロン等数時間～十数時間に及ぶスポーツでは，塩分や水の摂取不足によって低ナトリウム血症が少なからず起こることが報告されている。
- ② 軽症では無症状のこともあるが，倦怠感，吐き気，嘔吐，筋肉のこむら返り等の症状がみられる。
- ③ 重症では肺水腫・脳浮腫から呼吸困難や意識障害等の症状が起こる。
- ④ 長時間の運動では塩分（0.5～2%食塩水）を摂取するとともに，水を過剰に摂取しないように注意する必要がある。
- ⑤ 普段の練習やレース中に体重を測定すれば，水分摂取の過不足をチェックすることができる。

a	b	c	d	e
①④	②⑤	③⑤	①③	④⑤

2 救急処置について，次の (1)・(2) の問いに答えなさい。

(1) 学校でエピペン®を保管しているアレルギー疾患の子どもが，緊急性が高いアレルギー症状を発症したときの対応について，誤っているものはどれか。下の a～e から一つ選びなさい。

- a 救急車を要請
- b ゆっくり歩かせて，静かな場所に移動させる
- c ただちにエピペン®を使用
- d 反応がなく，呼吸がなければ心肺蘇生を行う
- e 安静な体位を保つ

(2) 次の文は、エピペン®の使用について述べたものである。このうち、誤っているものはどれか。次の a～e から一つ選びなさい。

工

- a エピペン®はアドレナリンを注射の形で投与できるようにしたものである。このアドレナリンは、主に心臓の働きを強めたり、末梢の血管を拡張させたりして血圧を上げる作用がある。
- b エピペン®の注射は法的には「医行為」にあたり、医師でない者（本人と家族以外の者である第三者）が「医行為」を反復継続する意図をもって行えば医師法（昭和23年法律第201号）第17条に違反することになる。
- c エピペン®の使用にあたっては、太ももの前外側に垂直になるように先端を強く押し付ける。押し付けたまま数秒間待つ。
- d エピペン®は、緊急の場合は衣服の上からでも注射できる。
- e 医師法以外の刑事・民事の責任についても、人命救助の観点からやむをえず行った行為であると認められる場合には、関係法令の規定によりその責任が問われないものと考えられる。

3 次の文は、学校に一般用医薬品を置く場合の保管・管理上の注意点について述べたものである（公益財団法人 日本学校保健会「学校における薬品管理マニュアル」）。①～⑥の説明において正しいものには○印，誤っているものには×印をつけた場合，正しい組み合わせはどれか。下の a～e から一つ選びなさい。

オ

- ① 一般用医薬品には使用期限の表示があるが，その期限は開封前の期限である。このため，開封後の使用期限は，種類や保管状態によって異なるので，開封されている一般用医薬品の使用期限については学校薬剤師に相談する。
- ② 一般用医薬品の保管は，直射日光を避け，気密性に注意し，使用状況に応じ施錠して保管する。
- ③ 一般用医薬品は，容器の開封時，直接の容器に購入年月日などを明記する。
- ④ 一般用医薬品管理簿は，一般用医薬品の保管や使用状況などの管理全般を把握するために役立つ。また学校医から指導・助言を得る際の有用な資料となる。
- ⑤ 一般用医薬品管理簿には，商品名，購入年月日，使用期限などを記録し，また定期的に使用期限や在庫の状況，使用量の状況などの点検を行い記録する。
- ⑥ 一般用医薬品管理簿は，あくまでも一般用医薬品の管理に使用するもので，使用した児童生徒や使用量等については，保健日誌などに記録しておくことが大切である。

	①	②	③	④	⑤	⑥
a	○	○	○	×	×	○
b	○	×	×	×	○	○
c	×	×	○	○	×	×
d	○	○	×	×	○	×
e	×	○	○	○	○	×

4 次の文は、脳脊髄液減少症への適切な対応について、記されたものである（「学校におけるスポーツ外傷等による脳脊髄液減少症への適切な対応について」（平成29年3月21日、文部科学省））。このうち、誤っているものはどれか。次のa～eから一つ選びなさい。

- a スポーツ外傷等の後に、脳脊髄液が漏れ出し減少することによって、起立性頭痛などの頭痛、頸部痛、めまい、倦怠、不眠、記憶障害など様々な症状を呈する脳脊髄液減少症とよばれる疾患が起こりうる。
- b 事故が発生した後、児童生徒等に頭痛やめまい等の症状がみられる場合には、安静を保ちつつ医療機関で受診をさせたり、保護者に連絡して医療機関の受診を促すなどの適切な対応が行われるようにする必要がある。
- c 事故後の後遺症として通常の学校生活を送ることに支障が生じているにもかかわらず、まわりの人から単に怠慢である等の批判を受け、十分な理解を得られなかったことなどの事例があると指摘されている。
- d 「脳脊髄液漏出症」に対する硬膜外自家血注入（いわゆるブラッドパッチ）については、保険適用の対象外とされている。
- e 学校の管理下における負傷による当該症状の治療で、保険診療の対象となるものについては、独立行政法人日本スポーツ振興センターが実施する災害共済給付の対象となる。

第4問 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編（平成29年7月，文部科学省）について次の1・2の問いに答えなさい。

- 1 「生活習慣と健康」の中で取り上げている「休養及び睡眠と健康」の項では，次のように述べられている。文中の（ ① ）～（ ⑤ ）に該当する語句の組み合わせを，下のa～eから一つ選びなさい。 ア

休養及び睡眠は，心身の疲労を回復するために必要であること，健康を（ ① ）するためには，年齢や生活環境等に応じて休養及び睡眠をとる必要があることを理解できるようにする。

その際，長時間の運動，学習，作業などは，疲労をもたらし，その徴候は心身の状態の変化として現れること，これらは運動や学習などの（ ② ）によって，また環境条件や個人によって現れ方に違いがあることについて取り上げ，適切な休養及び睡眠によって疲労を蓄積させないようにすることが大切であることに（ ③ ）。

なお，（ ④ ），コンピュータや情報ネットワークなどを長時間使用することによる疲労の現れ方や休憩の取り方など健康との関わりについても取り上げることに（ ⑤ ）。

	（ ① ）	（ ② ）	（ ③ ）	（ ④ ）	（ ⑤ ）
a	維持	作業の内容	気付かせる	実態に応じて	配慮するものとする
b	促進	量と質	理解を深める	必ず	徹底させるものとする
c	保持増進	量と質	触れるようにする	必要に応じて	配慮するものとする
d	維持	量と質	触れるようにする	必ず	留意するものとする
e	保持増進	作業の内容	気付かせる	必要に応じて	徹底させるものとする

- 2 「感染症の予防」の中で取り上げている「エイズ及び性感染症の予防」の項では、次のように述べられている。文中の（ ① ）～（ ⑤ ）に該当する語句の組み合わせを、下の a～e から一つ選びなさい。

エイズ及び性感染症の増加傾向と青少年の感染が（ ① ）になっていることから、それらの疾病概念や感染経路について（ ② ）。また、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることを（ ③ ）。例えば、エイズの病原体はヒト免疫不全ウイルス（HIV）であり、その主な感染経路は性的接触であることから、感染を予防するには性的接触をしないこと、コンドームを使うことなどが有効であることにも（ ④ ）。

なお、指導に当たっては、発達の段階を踏まえること、（ ⑤ ）全体で共通理解を図ること、保護者の理解を得ることなどに（ ⑥ ）が大切である。

	（ ① ）	（ ② ）	（ ③ ）	（ ④ ）	（ ⑤ ）
a	社会問題	理解できるようにする	触れるようにする	学校	配慮すること
b	現代的課題	理解できるようにする	気づかせる	学校	努力すること
c	社会問題	気づかせる	触れるようにする	地域	留意すること
d	経済問題	触れるようにする	強調して伝えることとする	教職員	留意すること
e	現代的課題	学ばせる	理解できるようにする	教職員	配慮すること

第5問 次の1～4の問いに答えなさい。

1 次の文は、「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する基本指針」（平成29年3月31日、文部科学省）の中の「不登校児童生徒に対する効果的な支援の推進」の項で述べられていることから抜粋したものである。このうち、誤っているものはどれか。次のa～eから一つ選びなさい。

ア

- a 不登校児童生徒に対する効果的な支援を行うためには、不登校のきっかけや継続理由、当該児童生徒が学校以外の場において行っている学習活動の状況等について継続的に把握することが必要である。
- b 個人のプライバシーの保護に配慮するとともに、原則として不登校児童生徒や保護者の意思を尊重しつつ、家庭への訪問による把握を含めた学校や教育委員会による状況把握を推進する。
- c 不登校児童生徒に対しては、学校全体で支援を行うことが必要であり、教育相談部長のリーダーシップの下、学校や教員がスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門スタッフ等と不登校児童生徒に対する支援等について連携・分担する「チーム学校」体制の整備を推進する。
- d 学校は不登校児童生徒に対し、原則として当該児童生徒や保護者の意思を尊重しつつ、必要に応じ、福祉、医療及び民間の団体等の関係機関や関係者間と情報共有を行うほか、学校間の引継ぎを行うなどして継続した組織的・計画的な支援を推進する。
- e 不登校児童生徒が自らの意思で登校してきた場合は、温かい雰囲気迎え入れられるよう配慮するとともに、保健室、相談室や学校図書館等も活用しつつ、安心して学校生活を送ることができるよう児童生徒の個別の状況に応じた支援を推進する。

2 次の文は、「教職員のための子どもの健康相談及び保健指導の手引」（平成23年8月、文部科学省）の中で、「健康相談実施上の留意点」として掲げられたものである。文中の（ ① ）～（ ⑤ ）に該当する語句の組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。

- 学校保健計画に健康相談を位置付け、計画的に実施する。また、状況に応じて計画的に行われるものと（ ① ）行われるものがある。
- 学校医・学校歯科医・学校薬剤師等の（ ② ）から行う健康相談・保健指導の場合は、事前の打合せを十分に行い、相談の結果について養護教諭、学級担任等と共通理解を図り、連携して支援を進めていくことが必要である。
- 健康相談の実施について周知を図るとともに、児童生徒、保護者等が相談しやすい（ ③ ）を整える。
- 相談場所は、相談者の（ ④ ）が守られるように十分配慮する。
- （ ⑤ ）が必要な者については、校内組織及び必要に応じて関係機関と連携して実施する。

	（ ① ）	（ ② ）	（ ③ ）	（ ④ ）	（ ⑤ ）
a	臨時に	医療的見地	状況	個人情報	経過観察
b	随時に	医療的見地	環境	プライバシー	継続支援
c	適宜	医学的手法	体制	秘密	カウンセリング
d	随時に	専門的見解	環境	個人情報	継続支援
e	臨時に	専門的見解	時間	プライバシー	短期集中支援

- 3 次の文は、「生徒指導提要」（平成22年3月 文部科学省）に示されている教育相談で活用できる手法を挙げたものである。この手法の名称の正しい組み合わせはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。 ウ

- ① 様々な社会的技能をトレーニングにより育てる方法。「相手を理解する」「自分の思いや考えを適切に伝える」「人間関係を円滑にする」「問題を解決する」「集団行動に参加する」などがトレーニングの目標となる。障害のない児童生徒だけでなく発達障害のある児童生徒の社会性獲得にも活用される。
- ② 児童生徒の社会的スキルを段階的に育て、児童生徒同士が互いに支えあう関係を作るためのプログラム。「ウォーミングアップ」「主活動」「振り返り」という流れを一単位として、段階的に積み重ねていく。
- ③ グループ体験を通してながら他者に出会い、自分に出会うプログラム。人間関係作りや相互理解、協力して問題解決する力などが育成される。集団の持つプラスの力を最大限に引き出す方法といえる。学級作りや保護者会などに活用できる。
- ④ 対人場面で自分の伝えたいことをしっかり伝えるためのトレーニング。「断る」「要求する」といった葛藤場面での自己表現や、「ほめる」「感謝する」「うれしい気持ちを表す」「援助を申し出る」といった他者とのかかわりをより円滑にする社会的行動の獲得を目指す。
- ⑤ 自分の中に生じた怒りの対処法を段階的に学ぶ方法。「きれる」行動に対して「きれる前の身体感覚に焦点を当てる」「身体感覚を外在化しコントロールの対象とする」「感情のコントロールについて会話する」などの段階を踏んで怒りなどの否定的感情をコントロール可能な形に変えていく。

	①	②	③	④	⑤
a	ソーシャルスキル トレーニング	グループ エンカウンター	アサーション トレーニング	アンガー マネジメント	ピア・サポート 活動
b	グループ エンカウンター	アサーション トレーニング	ピア・サポート 活動	ソーシャルスキル トレーニング	アンガー マネジメント
c	アサーション トレーニング	アンガー マネジメント	ソーシャルスキル トレーニング	ピア・サポート 活動	グループ エンカウンター
d	アンガー マネジメント	ソーシャルスキル トレーニング	ピア・サポート 活動	グループ エンカウンター	アサーション トレーニング
e	ソーシャルスキル トレーニング	ピア・サポート 活動	グループ エンカウンター	アサーション トレーニング	アンガー マネジメント

- 4 中央教育審議会答申（平成20年1月）では保健室経営の重要性について、次のように述べている。文中の（①）～（⑤）に該当する語句の組み合わせを、下のa～eから一つ選びなさい。

エ

養護教諭は、学校保健活動の推進に当たって（①）を果たしており、（②）健康課題の解決に向けて重要な責務を担っている。

子どもの健康づくりを効果的に推進するためには、学校保健活動の（③）を果たしている保健室の（④）の充実を図ることが求められる。そのためには、養護教諭は保健室経営計画を立て、（⑤）に周知を図り連携していくことが望まれる。

	（①）	（②）	（③）	（④）	（⑤）
a	コーディネーター的役割	山積する	センター的役割	設備	学校全体
b	支援者的役割	現代的な	トータル的役割	経営	教職員
c	中核的な役割	多様な	サポート的役割	運営	学校全体
d	中核的な役割	現代的な	センター的役割	経営	教職員
e	コーディネーター的役割	積年の	サポート的役割	機能	児童生徒

